

第一級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問

法

規

〔1〕 無線局の免許状に記載される事項に該当しないものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 空中線の型式
- 2 無線局の目的
- 3 無線設備の設置場所
- 4 通信の相手方及び通信事項

〔4〕 総務大臣は、無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるときは、その無線局に対してどのような処分を行うことができるか。次のうちから選べ。

- 1 免許を取り消す。
- 2 空中線の撤去を命ずる。
- 3 臨時に電波の発射の停止を命ずる。
- 4 周波数又は空中線電力の指定を変更する。

〔2〕 次の記述は、船舶に設置する無線航行のためのレーダー（総務大臣が別に告示するものを除く。）の条件を述べたものである。無線設備規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

その船舶の無線設備、羅針儀その他の設備であって重要なものの に障害を与え、又は他の設備によってその運用が妨げられる虞おそれのないように設置されるものであること。

- 1 操作
- 2 装置
- 3 機能
- 4 設備

〔5〕 無線局の免許人は、その船舶局が緊急通信を行ったときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
- 2 速やかに海上保安庁の海岸局に通知する。
- 3 総務大臣に届け出るとともに無線局事項書の余白にその旨を記載する。
- 4 船舶の責任者に通報する。

〔3〕 総務大臣が無線従事者の免許を与えないことができる者はどれか。次のうちから選べ。

- 1 刑法に規定する罪を犯し罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者
- 2 日本の国籍を有しない者
- 3 無線従事者の免許を取り消され、取消しの日から5年を経過しない者
- 4 無線従事者の免許を取り消され、取消しの日から2年を経過しない者

〔6〕 次の記述は、業務書類等の備付けについて述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

無線局には、正確な時計及び その他総務省令で定める書類を備え付けておかなければならない。ただし、総務省令で定める無線局については、これらの全部又は一部の備付けを省略することができる。

- 1 無線設備等の点検実施報告書の写し
- 2 無線業務日誌
- 3 無線局の免許の申請書の写し
- 4 無線従事者免許証

第一級海上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 無線局を運用する場合においては、無線設備の設置場所は、遭難通信を行う場合を除き、どの書類に記載されたところによらなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 免許状
- 2 免許証
- 3 無線局事項書の写し
- 4 無線局の免許の申請書の写し

〔8〕 次の記述は、デジタル選択呼出通信（遭難通信、緊急通信及び安全通信を行う場合のものを除く。）における呼出しに対する応答について述べたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

船舶局は、自局に対する呼出しを受信したときは、

以内に応答するものとする。

- 1 15分
- 2 10分
- 3 5分
- 4 3分

〔9〕 無線電話通信において、呼出しに使用した電波と同一の電波により通報を送信する場合に順次送信する事項のうち、その送信を省略することができるものはどれか。次のうちから選べ。

- | | | |
|---|--------------|----|
| 1 | 相手局の呼出名称 | 1回 |
| 2 | (1) 相手局の呼出名称 | 1回 |
| | (2) こちらは | 1回 |
| | (3) 自局の呼出名称 | 1回 |
| 3 | (1) 相手局の呼出名称 | 1回 |
| | (2) こちらは | 1回 |
| 4 | (1) こちらは | 1回 |
| | (2) 自局の呼出名称 | 1回 |

〔10〕 遭難通信を行う場合を除き、その使用は、できる限り短時間とし、かつ、1分以上にわたってはならない周波数の電波はどれか。次のうちから選べ。

- 1 156.8MHz
- 2 2,187.5kHz
- 3 27,524kHz
- 4 156.525MHz

〔11〕 無線局に備え付けておかなければならない時計は、その時刻を中央標準時又は協定世界時にどのように照合しておかなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 運用開始前
- 2 毎週1回以上
- 3 毎日1回以上
- 4 毎月1回以上

〔12〕 次の記述は、遭難の呼出し及び通報について述べたものである。国際電気通信連合憲章の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

無線通信の局は、遭難の呼出し及び通報を、、絶対的優先順位において受信し、同様にこの通報に応答し、及び直ちに必要な措置をとる義務を負う。

- 1 いずれから発せられたかを問わず
- 2 自国の領海で発せられた場合には
- 3 公海で発せられた場合には
- 4 自国の領海及び公海で発せられた場合には